

世界大会を経験して

亀山 沙矢香 (琉球大学病院)

日本健康運動看護学会関係者の皆様、こんにちは。

この度、晴れて健康スポーツナースの名称を頂いた、琉球大学病院看護師の亀山沙矢香です。今回、2023年に沖縄で開催されたFIBA バスケットボール大会 W 杯でメディカルスタッフとして活動した際のエピソードをお話したいと思います。



アクレディテーションカード



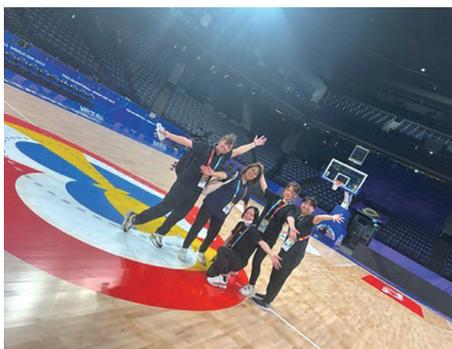
2023年W杯 沖縄アリーナ



練習会場の沖縄市体育館

当院はBリーグ琉球ゴールデンキングスをサポートしています。

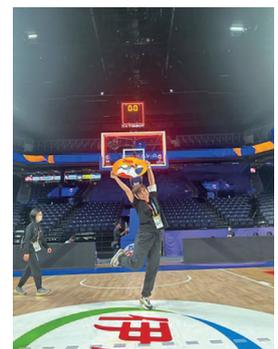
そのご縁もあり、41人のナースで朝9時から遅い日は24時過ぎまでの15日間、選手や観客の救護を経験させて頂きました。大会期間中、一番印象に残っている事は23時過ぎに業務終了して帰ろうと無線機を机に置いた瞬間、観客が外で気分が悪いと蹲っているとの連絡が入り、救急バックを持ってDr、PTと共に800m先まで全力疾走した事です。誰よりも早く私が現地に到着したのを覚えています。幸い軽い脱水症状だったので水分を持たせ帰宅となりました。気が抜けない日々でしたが、日本全体がバスケットで盛り上がり、オリンピック出場に貢献できたことが何よりも嬉しかったです。



沖縄アリーナ メディカルナース



沖縄アリーナ最終日 メディカルチーム



🎉 パリオリンピック出場

私が所属している高気圧治療部は、スポーツ外傷の子供や大人が治療を受けにきます。スポーツナースとしてスポーツの楽しさや健康づくりの大切さ、学んだ知識を提供できるような活動の場を作っていこうと思っています。